

▶平成20年10月28日(火)

行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとどまることなし。世の中にある人とすみかと、またかくの如し。

きょうは、鴨長明「方丈記」で始めました。

諸行無常の世界です。

今日の自分は、自分にしてきのうの自分にあらず。

日々成長する自分の姿をイメージしましょう。

勉強努力せよ、といういにしえのえら～い人の教えですよ。

グラフの交点の座標は「等置法」に限ります。

が、その等置法自体が難しい。

きょうは、そのお話です。

先生：「いきま～すっ！

次の連立方程式を等置法で解きなさい。

$$y = -0.1x + 1.2$$

$$y = 0.25x - 1.25$$

生徒A：「はいつ！」

先生：「よし！、行け！」

生徒A：「よっしゃ！」

きょうも、みなさん元気いっぱいです。

「もとの水にあらず」であって下さいね、A君！

きのうの「轍を踏む」ことのないように、ということですよ...！

生徒A：「轍を踏む？」

先生：「二の舞を演ずる、とも言う！」

生徒A：「二の舞...？」

なんだろ？」

生徒D：「二度あることは三度ある、って！」

先生：「半分だけ当たり、

それだと、いいことだって含む。」

生徒C：「二番煎じ...！」

先生：「...う～ん、

ちっと、ちがう気もするが...

轍は蹉跎だから...」

生徒 A : 「鉄, 砂鉄... ?」

先生 : 「...」

生徒 B : 「二の足を踏む... !」

先生 : 「これは, はっきりちがう!

躊躇のこと」

生徒 B : 「わお! ,

なに, これ。

読めない。」

先生 ; 「わしゃ, 書けない!」

生徒 A : 「ボク, なんもわかんない!」

じゃんじゃん!

生徒 A : 「う~... (-_-;)」

入っていけない世界!

取り残されてます...

な~んか, コ・ド・ク!

”よどみに浮ぶうたかた” だわな, ボク...。」

神の声 : 「なに遊んでんの,

連立方程式はどうしたんですか?」

先生 : 「そうでした,

数学します。はい, A君続きっ!」

生徒 A : (元気いっぱい) 「はいっ! ,

やっと, 仲間に入れてもらえる... (ほっ!)

等置法, いきます!

$$- 0.1 \quad + 1.2 = 0.25 \quad - 1.25$$

両辺 $\times 100$

$$- 10 \quad + 120 = 25 \quad - 125$$

$$245 = 35$$

$$7 =$$

$$y = - 10 \times 7 + 120 = 50 \quad \text{答} \quad = 7, y = 50」$$

先生 : 「ん?」

生徒 A : 「きょうも, ダメ?」

先生 : 「きょうも, ダメ!」

生徒 A : 「... (-_-;)」

どこが?」

先生 : 「 の値をどこに代入したの!」

生徒 A : 「分数や小数は整数にして, 簡単にして計算しなさいって, 先生が...」

先生 : 「...」

たしかに, 言った」

生徒A：「だから，整数のところに代入して...」

先生：「...」

生徒A，理路整然とまちがえます。

生徒A：「なぜ $-10 + 120$ に代入してはいけないの？」

先生：「うぐっ！」

理路整然とまちがう生徒ほど，原則的な質問をしてきます。

先生，” たじろぐ”。

さて，先生，どうする！

先生：「 $-0.1 + 1.2 = 0.25 - 1.25$ は等式だから，

両辺に 100 をかけても成り立つ。だから，

$-10 + 120 = 25 - 125$ はいい。

これは，計算上便宜的にこのようにやるわけで...

この場で，値は 100 倍されている...。」

生徒A：「便宜...てき？」

”べんぎ”ってなに？」

先生：「便法とも言うが...」

生徒A：「”べんぼう...”？」

女生徒B：「なんかイメージ，わり～い！

”くさ～い”，かんじ！」

先生：「... (-_-;)」

生徒A：「でも， 100 倍されているのは係数のほうで，

は 100 倍されてはいないでしょ。

分配法則のところで

$a(bc + d) = abc + ad$ で，

積には 1 回しかかけない，と先生，言ったでしょ。

だから，は 100 倍されてはいないわけで...

だから， $-10 \times (7) + 120 = 50$ は，ぜったい正しい！」

う～ん，生徒A，するどい！

しかし，しかしですよ。

あさっての方向を向いて”するどい”。

わかりますか，このパロディ。

先生：「...」

ゆきづまっております，せんせ。(*^_^*)

「立ち往生」というのですね。

「往生」！

追求したくなる言葉ですが...

先を急ぎます。

先生：「う～ん！

”ぜったい”ただしくは，ない！

だが，” どじで ” ...だ？」
” 濁って ” 悩んでおります，せんせ。

神の声：「 だけを見るから分からなくなるんじゃ。
問題は， y の値でしょ？
 y の値が等式の性質を使って 100 倍されているから
 $-10 \times (7) + 120$ の -10 や 120 は
 y の値を求める時には使えないわけで...，
もとの -0.1 や 1.2 を使わにゃいけん，わけだ。」

生徒 A：「...？」

神様も説得力なく，

授業はダレてしまいました。

こういう日もあるでしょ，せんせ！

うさ晴らしとて，酒飲んで，飲酒運転しちゃいけませんよ，せんせ。

神様より，もっと偉い先生はどう生徒 A を説得してくれるのでしょうか？

きょうは，問題を投げ捨ててで，おしまい！

読者の皆さんも，笑ってばかりいないで，少しは悩んで下さいな。(*^_^*)

では，

ジャンジャン！

きょうは，迫力の無い授業でした...

教材のほうは，迫力満点であります。!(^^)!

等置法を使った連立方程式の解法の教材ですよ。

◀ 【 まちがいをさせない教材 】 ▶

インターネットを使った通信教育用教材(生徒の自学自習用教材)の紹介です

1 次関数 20	2 連立方程式とグラフ(その2) 等値法の復習	クリック
-------------	-----------------------------------	------